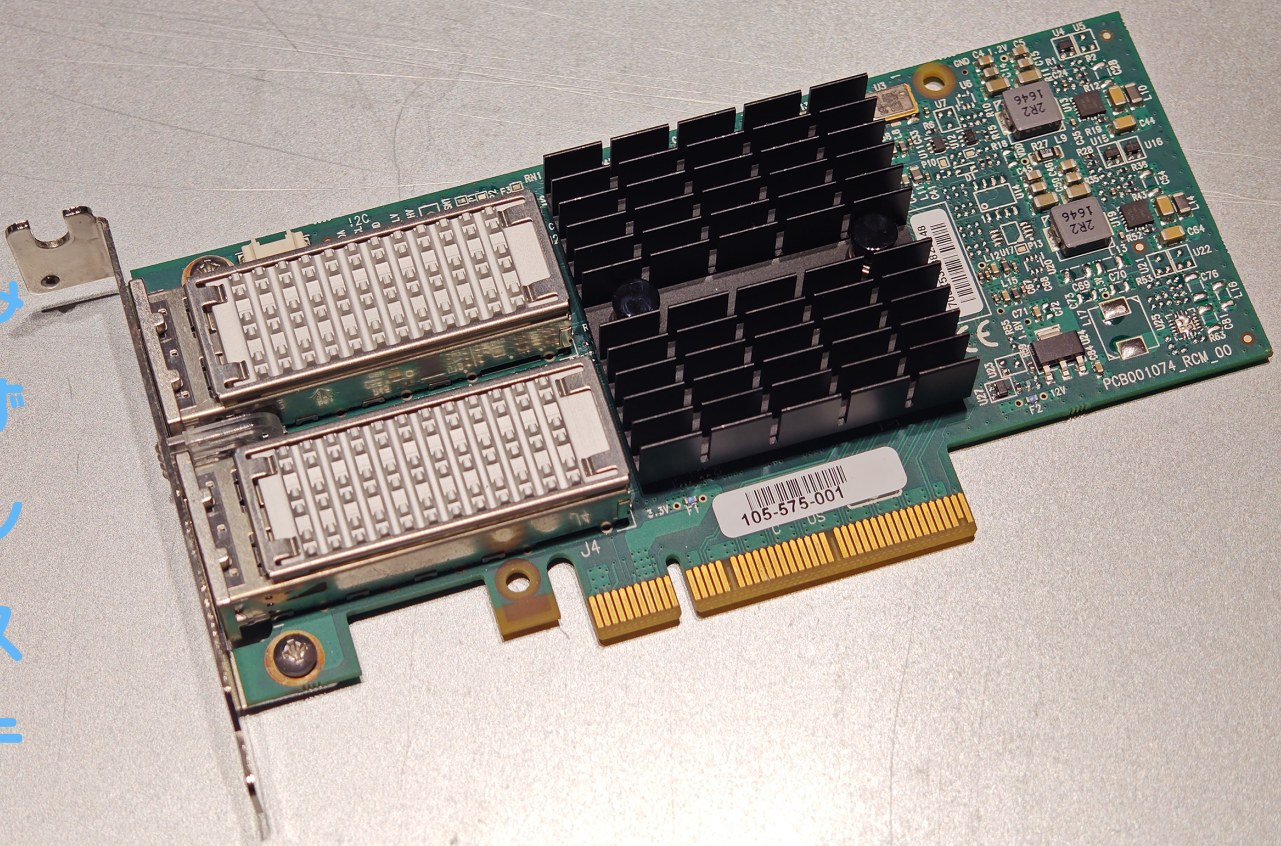


ソフトウェアルーターを試す

みずシステム



ソフトウェアルーターを試す

みずシステム

目次

- ・まだまだ擦るぞ！40G環境
 - ・検証環境紹介
- ・ルーターとしての速度を計る。
 - ・測定結果1
 - ・ブリッジを測る。
 - ・測定結果2
 - ・仮想化の検討
- ・まとめ・あとがき

まだまだ擦るぞ！40G環境

以前C103で40GLAN導入を試すといった内容の同人誌を頒布しましたがそのときより10Gが普及してきたように感じます。

これには漢字っぽいロゴの付いたスイッチをはじめとした低価格なスイッチが増えたことか、蟹の増殖の影響か？はたまたプロバイダ会社の営業の賜物か様々な要因があるのかなと思っています。またRJ45での10G環境の発熱問題などあり、SFPをはじめとしたコネクタ、光ファイバーといった少し前なら「ちょっとアレな人」御用達な装備も急速に市民権を得てきたと感じます。

コスト面でも40G~のカードが中古市場で100G~といったより高速な環境への移行に伴うリプレースが進み、オークション頼りでなくともAliExpress等で3000円程度から比較的安定(?)して入手できるようになっています。

しかし10Gのような安価で手軽に導入できるスイッチの類は依然少ないです。

今回はルーター、スイッチない問題に対して、IB（インフィニティバンド）のスイッチを使う方法やWindowsの「ルーティングとリモートアクセス」機能を使用するといった方法を検討しましたが、あくまで導入することに重きを置いた為、詳細な検証はできていませんでした。

そこで今回はスイッチやルーターをソフトウェアと汎用サーバーの組み合わせでどの程度実現性があるのか、実際に条件を変えて複数構築し検証をおこない、比較し40Gのネットワーク機器としてどの程度使用できるかを考察して行きます。

過去頒布した本はデジタル版をBoothにて販売中です。;